



おもちゃ箱とめ（放デイ）事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱とめ			
保護者評価実施期間	令和 8 年 3 月 2 日		～	令和 8 年 3 月 23 日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	22
従業者評価実施期間	令和 8 年 3 月 6 日		～	令和 8 年 3 月 17 日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 25 日			

○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている 取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者、関係機関と情報共有を行い連携を取っていること	利用児童や保護者の様子に少しでも違和感やトラブル等があった際は、すぐに連絡を取り、関係機関とも必要に応じてやり取りを行っている。	こちらからの情報の吸い上げがなくても、保護者から困りごとを積極的に発信できるような聞き取りができるようにしていきたい。
2	季節毎のプログラムや行事がある	行事の担当制や行事をスムーズに行えるように、各担当者が行事の組み立てを行っている。	児童が更に様々な体験をし、色々なことを感じ、心豊かに育つように新たなイベントを考えていきたい。
3	事業所の支援に満足していること	・休日や長期休業中には外出や買い物学習、調理実習などの活動を取り入れ、社会経験を積めるように工夫している。	これからも保護者のニーズを把握し、より細やかな支援を目指したい。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との連携について	相談支援等を通して必要な情報共有は行われているが、事業所同士が直接情報共有する場を作る事が時間的に困難な状態です。	担当者会議などの時間調整に工夫が必要であると考えます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	現状、機会を設定するのが厳しい。	事業所には、ペアレントトレーニング研修修了者が2名在籍しているので、実施していきたい。また基幹センターでの受講も検討していきたい。
3	第三者委員会など、外部の機関を運営に取り入れることができていない。	外部機関とつながれるようにする体制づくりのための時間の確保が難しい。	市町村や各公共団体へ方法の助言を聞くなどの取り組みをしていきたい。